

# 英語の勉強法

## 授業の受け方

- (1) 休み時間の間に教科書、ノート、ファイルなどの学習用具をきちんとそろえて授業に臨む。
- (2) 先生の話はしっかりと聴き、集中する。
- (3) 英語の授業では活動があります。しっかりと体と脳を動かし、体全体で英語を習得するように心がける。
- (4) 英語の聞き取りは完璧でなくてもよい。知っている単語を聞き取り、わからない単語などは推測する。
- (5) わからないところや質問があれば、遠慮なく先生に聞いたり、辞書を活用する。

## 家庭学習の仕方

- (1) 定期的に、長時間ではなく、少ない時間でもいいから毎日継続して学習する。
- (2) 授業で習った英単語や熟語をその日で覚えるようにする。ノート（4線ノートや家庭学習帳など）に書きながら覚える。その際、発音しながら覚えるようにすると、記憶の効果は上がるといわれている。読めない単語は、先生や友達に聞いたり、辞書で調べる。
- (3) テレビやラジオの英語番組を利用するのもよい。NHK テレビ・ラジオの英語講座はおすすめです。新聞のテレビ・ラジオ欄をみるといろいろな番組があります。再放送もあるので、見逃しても、もう一度見る・聴くチャンスがあるという利点もある。  
※本屋に行くと、CD付テキストが安価で手に入るよ！
- (4) 英語の歌や英語が話されている映画を意識して見て学習してもよい。現代は科学の時代、CD やMD、ビデオやDVD など、自宅にいながら英語のシャワーを浴びることができる。しかも寝ながらBGM 感覚でも英語は聞ける。特にDVD では、英語の字幕で見ると聞き取れなかった英語が視覚的にわかるようになる。

## テスト勉強の仕方

- (1) テスト範囲の教科書、ノート、語順ドリル、ファイルなどを徹底して何度も復習する。
- (2) テスト範囲の単語、熟語を完璧に覚える。その際、例文を通して覚えると効果的です。
- (3) 基本文や Basic Dialog を覚える。
- (4) 日頃の授業を真面目に受けることや家庭学習の積み重ねが威力を発揮します。

## 受験勉強の仕方

- (1) 過去問を何度も解いてみる。時間配分やリスニングの難易度や時間を体得する。
- (2) 受検用の単語・熟語集、文法集などを用意し、同じ参考書や問題集を最低3回は繰り返して勉強する。

**There is no royal road to learning.**

(学問に王道なし：勉強は一夜漬けでできる物ではない)

こつこつ難儀を積み重ねよう！

